



2026 年 8 月 4 日

各 位

会 社 名 古河電気工業株式会社
代表者名 取締役社長 森平 英也
(コード：5801 東証プライム市場)
問 合 せ 先 IR部長 間瀬 幹成
(TEL. 03-6281-8540)

光ファイバおよび光ファイバケーブルの生産に係る固定資産の取得に関するお知らせ

当社は、光ファイバおよび光ファイバケーブルの生産能力の増強について決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 投資の主旨

近年、生成 AI の急速な普及やクラウドサービスの高度化を背景に、世界的にデータセンタ市場は力強い成長を続けております。特に、ハイパースケールデータセンタを中心としたインフラ投資の拡大に伴い、高品質の光ファイバケーブルに対する需要は中長期的に大きく伸長することが見込まれており、光伝送の大容量化に対応した当社のローラブルリボンケーブルについては、足元の受注環境も良好であり、中長期的にも成長が期待されます。こうした増大する需要に対応するため、当社は今般、光ファイバおよびローラブルリボンケーブルの生産能力を増強する設備投資の実施を決定いたしました。本投資にあたっては、長期のものも含め、顧客からの購入コミットメントを確認しております。

本投資は、アメリカ合衆国、ブラジル、日本およびインドにおいて実施し、2028 年度下期より順次稼働を予定しております。

当社は今後も高性能・差別化製品の提供により、生成 AI の発展を支えるデータセンタの進化と成長著しい通信インフラ分野の発展に貢献してまいります。

2. 投資の概要

- (1) 主な所在地 : アメリカ合衆国 (Lightera LLC)、
ブラジル (Lightera LatAm S.A.)、
日本 (ライテラジャパン株式会社)、
インド (Birla Furukawa Fibre Optics Private Limited、
以下 BFFO 社) (注)
- (2) 投資の内容 : 光ファイバおよび光ファイバケーブル (ローラブルリボンケーブル) の製造装置、土地および建屋
- (3) 投資総額 : 総投資額は約 1,000 億円を見込んでおります。
- (4) 投資による量産開始予定 : 2028 年度下期より順次
- (5) 本投資によりローラブルリボンケーブルの製造能力は、ファイバ数量換算で 2025 年度末対比概ね 2 倍となる見込みです。

(注) BFFO 社は Universal Cables Limited (インド、以下 UCL 社) と当社が出資する合弁会社であり、当社の持分法適用会社です。BFFO 社における投資は UCL 社との協議成立をもって確定いたします。

3. 今後の見通し

本投資が 2027 年 3 月期の連結業績に与える影響は軽微です。2028 年度下期以降各拠点での量産開始に合わせて連結売上高の増加に寄与する見込みです。

以 上